

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0807
施設名	葛西第二おひさま保育園
施設所在地	江戸川区中葛西2-11-13
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・楽器遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

「さんぼ」の音楽に合わせて保育士と一緒に歩いていたのが、徐々に友達を誘い友達同士で手を繋ぎ歩くようになった。また、リズム遊びなども好きなことから音に着目し、楽器遊びをテーマに選んだ。

2. 活動スケジュール

【1回目】11月27日

「さんぼ」の曲に合わせて楽器を持って歩いてみた

【2回目】12月3日

どんな音がなるか様々な楽器に触れた

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

【1回目】道具：鈴、カスタネット、キーボード

環境設定：楽器を持って歩けるよう広々とした空間で行った。(みかんの部屋)

【2回目】道具：卵マラカス、太鼓、アコーディオン、鈴、カスタネット

環境設定：楽器を全員が触れられるよう複数用意した

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【1回目】

曲に合わせて楽器を鳴らしながら歩く。

【2回目】

好きな楽器を選んでどんな音が鳴るのが楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

【1回目】保育士の姿を真似て楽器を鳴らしながら行進。保育士の後を追いつながら行進していたため、自然と円を描くように行進していた。「さんぼ」の曲は保育士がキーボードで演奏したがキーボードの近くで楽器を鳴らす児の姿もあった。いつもの「さんぼ」の曲に合わせて歩くが楽器を使うことで違う楽しみ方ができたようで笑顔が見られた。

【2回目】楽器の種類を増やしどんな音が鳴るのか卵マラカス、アコーディオン、太鼓、鈴、カスタネットと様々な楽器に触れた。保育士が「シャカシャカ」「リンリン」「トントン」など音を言葉で表した。すると「シャカシャカ」などと真似をしながら楽器を鳴らす姿が見られたり、曲を流すとリズムカルに楽器を鳴らしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

楽器を持って行進するという活動から卵マラカス、アコーディオン、太鼓、鈴、カスタネットと様々な楽器に触れ、曲に合わせて楽器を鳴らすことで拍数を意識しリズムに合わせて楽器を鳴らす姿が見られた。マラカスは振るだけで音が鳴る為リズム感が育ちやすいのかと思った。様々な楽器を用意したことで「あれやりたい」「やる」と興味を示していた。いろいろな音が鳴ることに「たのしいね」と話す姿も見られた。今後も自分で音を鳴らす楽しさを存分に感じたり、楽器それぞれの音色や様々なリズムを楽しめるようにしていく。また、楽器だけでなくカプラを叩くと音がなることに気づき歌に合わせて叩いたり、カプラをバチに見立てて遊ぶ姿も見られた。今後も音に興味関心を高められるような活動を行っていく。

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0807
施設名	葛西第二保育園
施設所在地	江戸川区中葛西2-11-13
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
クラスの子も達が、色に対する興味が大きいと感じられたため。(どんな色が好きを口ずさんだり、色に関する絵本にも興味があった)

2. 活動スケジュール

夏 寒天遊び・色水遊び

秋～冬 製作(紙粘土・とんぼのめがね・雪だるま 等)

色に関する活動を多く取り入れると共に、日常的に色に関する絵本も読んでいった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

一人ひとりがじっくりと活動を楽しむことができるように、時間に余裕を持って活動を組み立てていった。必要なものは購入した。(絵の具・インク・クレヨン・画用紙・折り紙・模造紙・紙粘土 等)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

寒天遊び・色水遊び⇒①自分の好きな色を見つける②混色を楽しむ
とんぼのめがね製作⇒製作物を通して、色を通して見える世界を楽しむ
紙粘土製作・雪だるま製作⇒①自分の好きな色になっていくのを楽しむ
②混色から自分オリジナルの色を作ることを楽しむ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

寒天遊びや色水遊びでは、どんな色が好きの歌を唄いながら、好きな色を見つけて楽しむ様子が見られた。色を混ぜると「チョコ色になった!」「赤と青を入れていい?」「青と緑を混ぜたら黄色になっちゃった!」「どんな色がいいかな?」等の発言あり。同じ色ばかり作る子もいれば、色の変化に気が付く子もいた。ジュース屋さんやアイス屋さん等のごっこ遊びに見立てる姿もあった。

とんぼのめがねの製作では、セロファンの色を通して影絵のように透かして楽しむ姿が見られた。色が重なると色の変化を見て「なんで?」と不思議そうにしている子もいた。紙粘土や雪だるまの製作では、初めて行う技法に興味がある子も多く、張り切って活動に参加していた。色が紙粘土や綿についてくると「赤になった!」「恐竜の色になった!」等、嬉しそうに報告してくれる子もいた。自分の好きな色を発見できた様子。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段の園生活でも色々な場面で「色」が出てくると思うが、このように色に特化した活動を多く取り入れねらいをもって活動を組み立てていくことで、子ども達の発見をたくさん感じることができた。好きな色を見つけ、そこから混色を楽しむようになり、自分オリジナルの好きな色を作るところまで段階を経ていったが、色に関する親しみが更に深まったと感じている。

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0807
施設名	葛西第二保育園
施設所在地	江戸川区中葛西2-11-13
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・キッズカメラ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

・夏の時期に虫探しに夢中になっていた子ども達。図鑑を観ながら観察を楽しんでいた為虫メガネを導入した。虫メガネを使って観察していくうちに色々な物・場所をメガネを使って観るようになり、そこから「子どもの視点でどんなのだろう?」とキッズカメラを取り入れ、記録に残すことにした。

2. 活動スケジュール

・具体的な日程と回数は決めていないが、カメラを購入後毎日のように子ども達がキッズカメラを持って活動に参加。その日のうち子ども達本人が「ベストショット」を選び写真の印刷をした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

・カメラの数の数に限りがある為、日替わりでカメラ担当を変えた。準備物はカメラのみ。午前中の活動に限らず午後は他のクラスに周り撮影を楽しんだ。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

・一日の活動(室内、園庭、散歩、夕方の様子)の中で子ども達がカメラを持ち歩き、撮影したい物事を子ども達の視点で撮影。撮影した写真の中から数枚、お気に入りを選んでもらい印刷し、一つのファイルにまとめた物を保護者に見てもらった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・カメラの扱いについてはすぐに慣れた様子。撮影するだけではなく色々なエフェクトや加工で撮影する事も楽しんでた。はじめは自分の目線の高さのみで撮影をしていたが、秋頃にはどんぐりや落ち葉など足元に注目してみたり、友だちと保育士が関わっている様子を撮影したりと子ども達が「今見たもの、今感じたもの」を記録に残している。撮影した物を「みせて!」と互いに見せ合うなどして子ども同士の関わりも深める事ができた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・子ども達の目線、高さから撮影する風景は少しブレていたり斜めになっていたり、それが個性に繋がり面白い物が記録に残せたと思う。また、一つのファイルに残す事で周りの友だちがどんな物を撮影したのかを子ども達自身で確認。「なにこれおもしろ〜!」という会話も聞くことができた。

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0807
施設名	葛西第二保育園
施設所在地	江戸川区中葛西2-11-13
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・色水遊び

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など) 【1回目】クラスで育てたアサガオが、しおれた後も何かに生かせないかと考え、初めはビニール袋に水と一緒にに入れて揉みながら色水遊びを楽しんだ。それをきっかけに擦り鉢と擦りこぎを使い、自然物を使った色水遊びに発展させたいと考えた。
【2回目】前回の経験から、色水遊びに興味を持ち始め、ぶどうジュースや緑茶などに見立てて遊ぶ楽しさを味わった。今回は、色と色を混ぜるとどのような色ができるのか、経験から学んでほしいと考え、食紅の3原色を用いて混色ができる環境をつくった。

2. 活動スケジュール

【1回目】10月23日(木) 自然物を使った色水遊びを通して、どんな色が出るのかを実験しながら楽しんだ。 【2回目】12月9日(火) 食紅を使い、違う色を混ぜるとどのような変化が生まれるのかを楽しんだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具) 【1回目】準備した素材：クラスで育てたアサガオ、散ったキンモクセイ、サツマイモの葉、擦り鉢、擦りこぎ/環境設定：園庭や室内にコーナーを設け、テーブルや台を用意した。
【2回目】準備した材料：食紅(赤・青・黄)、計量カップ、透明カップ、金魚すくい用のビニール袋/環境設定：少人数で行えるよう、室内にコーナーを設け、テーブル、椅子、雑巾などを用意した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

(1回目)しおれたアサガオ、散ったキンモクセイ、サツマイモの葉などを使って、色水あそびを行った。
(2回目)食紅の3原色(赤・青・黄)の色水から、好きな色を選び、混ぜ合わせて、色の変化を楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等) (1回目)アサガオやキンモクセイを擦り鉢と擦りこぎで擦ると、植物の色が鮮やかに出てきて、子どもたちの目を輝かせた。「いちごジュースできた!」「ぼくのはぶどうジュースだよ」とできた色水を見せ合っていて楽しんでいた。サツマイモの葉を使っている抹茶作りでは、とても濃い緑色になり、「ちょっと怪しい緑になっちゃった」。水で薄めると鮮やかな緑色になり「緑茶になった」「伊右衛門みたいだね」と嬉しそうにしていた。すり鉢の使い方を覚えることができた。
(2回目)室内で、少人数ずつ色水あそび。前回、アサガオやサツマイモの葉で色を出したが、今日は、食紅の赤、青、黄の3原色を使い、混ぜて好きな色を作った。作った色は一人ひとり、金魚すくい用のビニール袋に入れて、室内に飾った。「〇〇くんと□□くん、緑だけど、ちょっとだけ色が違うね」「紫もいろんな紫があるね」と、色を見比べて、友だちとの違いに気付き、会話をする様子が見られた。透明のカップを使用できた為、色の変化が分かりやすかった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

1回目は自然物から色を抽出することで、対象の物からどんな色が出るのかを楽しめた。2回目は、食紅を使うことで鮮やかな3原色をもとに色を混ぜ合わせて別の色を作り出すことを楽しんだ。今後はジャグを使い、たくさんの色水を使ってより幅広く楽しめるようにしたい。

令和7年度【2025年度】

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0807
施設名	葛西第二保育園
施設所在地	江戸川区中葛西2-11-13
法人名	社会福祉法人えどがわ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

サツマイモの収穫

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

春に植えたサツマイモの収穫時期になり、自分たちで育てた食物がどのように育ち、また、食べられるものになったのか関心を持っていた為。

2. 活動スケジュール

10:00 サツマイモ掘り
10:30 サツマイモ洗い
11:00 調理(オープンで焼く)
15:30 実食
16:00 観察

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・サツマイモの絵本 ・量り
- ・クレヨン
- ・画用紙
- ・オーブントースター、アルミホイル

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

サツマイモ掘りを行い、その後水洗いをした。ツルやサツマイモが埋まっていた土の中を観察し、虫探しも楽しんでた。オーブントースターで焼きおやつ時間に食べ、その後は観察をしながら絵を描いたり、重さを量ったりした。後日、さつまいもスタンプをした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

サツマイモのツルを引っ張りながら「根っこがあるね」と言い、根っこの先にいっつもものサツマイモがついていることに驚いていた。オープンで焼いている時は「良い匂いがするね」と楽しみにしていたが実食すると「味がしない」とも言っていた。焼く前を焼いた後と比べていると「(焼く前は)しょうがに似てる」と言ったり葉先が紫であることを見て「病気じゃない?」や葉っぱは「よく見たらハートだった」と気づきがあった。スタンプの時には「なんか良い匂いがするね」と言ってみたり上手にスタンプが押せると喜び「もっとやりたい」と意欲的であった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

「やりたい子おいで」と声を掛けると普段はあまり活動に積極的でない子も意欲的に参加している様子があり興味や関心があることは楽しめるのだと感じた。食べてみると甘味はあまりなく残す子が多かかと思ったが完食している子が多かった。数日天日干しをすると甘味が増しおかわりをほしがるほど喜んでた。重さを量ることもして、それ自体は楽しんでたが展開がなかったのでその先をもう少し考えていけたらと感じた。スタンプは綺麗に押せるととても喜び、意欲的に取り組んでいた。